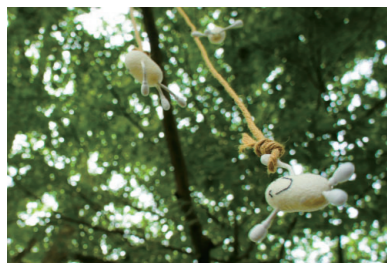




1 私の好きな… 井関 恭雄／山形県新庄市

使い古された手法ではありますが、額縁を使いました。この10haの広いエコロジーガーデンどこを切り取ってもアートを感じます。心地よい植栽と調和する構造物（材質、設計、レイアウト）Ecology Gardenのたたずまい全てがアートです。願わくばこのまま残してほしいのです。難しいとは思いますが、このままで。私が選んだ「壁」好きです。この時が作った質感。なんとも言えません。そしてあなたの好きな場所をさがして下さい。



2 キトムシ 渡邊 歩／山形県新庄市

突如舞い降りたキトムシたち！
彼らがもたらすのは世界の救いか！？それともいたずらか！？



3 はじめまして。くまのです。 くまのひろし／山形県新庄市

はじめまして。くまのひろしと申します。
この度、こちらでアルバイトさせていただくことになりました。32歳です。ご覧のとおり少々毛深いタチですが、こんな僕を優しく受け入れてくれた新庄のみなさんのため、「くまさんみたいでかわいい」と言ってくれるかわいい妻のため、お仕事頑張りますのでよろしくお願ひします。



4 場所の抽象、記憶の重層 工学院大学 富永研究室 篠沢研究室／東京都

広大な敷地に、規則的に並ぶ建物と自然の関係を抽象化した。建物のように、規則的に積まれた棚と、自然のように複雑に集積する細い角材により表現している。棚部分は12mmの合板でできた500mm間隔の棚で形成され壁際に設置される。その内側の細い木材による構築は棚が規定するグリッドに依存しながらも、垂直材が浮いていたり、水平材が断絶されることによって、構築に疎密が生まれ、木陰のような柔らかな空間となる。また、視点を変えると、この棚と木材の関係は、蚕が族(マブシ)を頼りに作った繭糸の集積のようにも見える。かつてここにあった繭と現状の蚕糸試験場という二つの異なるスケールのイメージを重なり合わせた物がこの作品である。



5 光の温度 吉野 優美／山形県新庄市

色と光と感覚と。
陰と陽。光の色によって感覚が変化する。
いつもの窓枠にステンドグラス加工を施し、「ここちよい場所になあれ。」と魔法をかけました。



6 鈴木さんち 吉野 敏充／山形県新庄市

鈴木さんちのドアを開ければ、そこはアナタの場所。
アナタ次第でその場所は思いのまま。
開くのを待つのではなく、自分で開けてください。



7 メッセージ 齋藤 隆／山形県東根市

僕には伝えたいことがある。
あなたが今読んだ僕のメッセージ。
何を伝えたいのか。
あなたが考えてくれたことが僕のメッセージです。
「あした てんきに なあれ。」



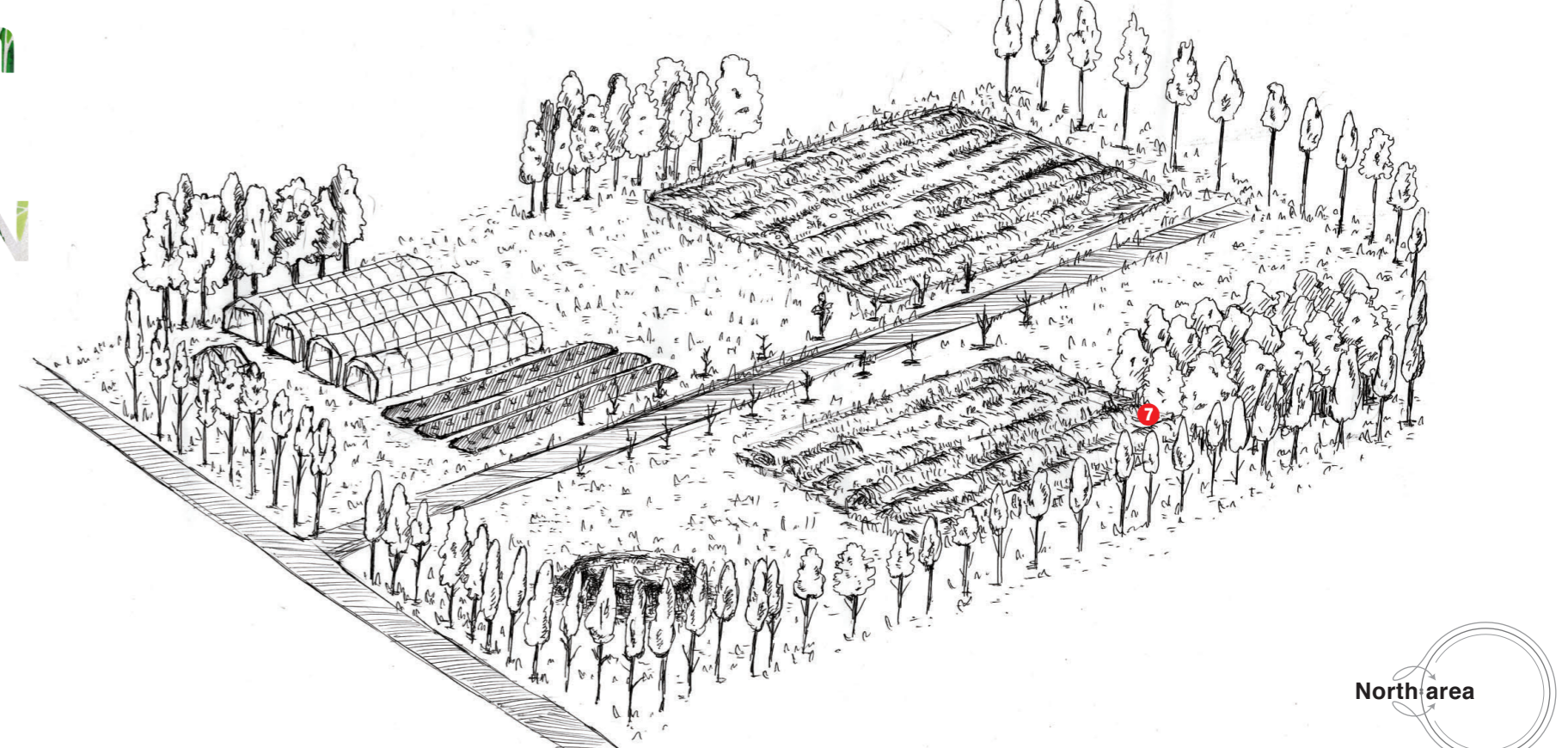
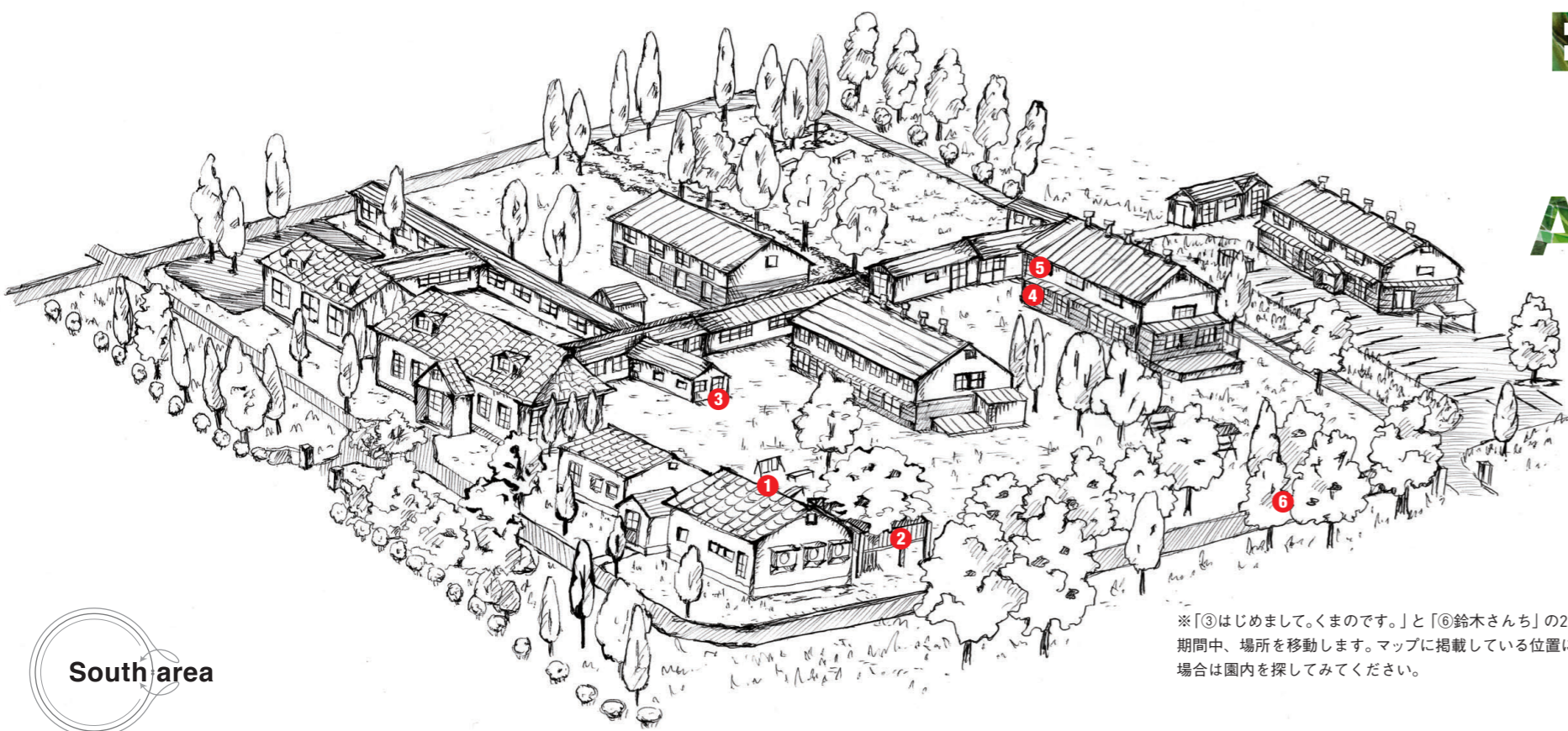
kitokito環境芸術祭の開催に寄せて

麦わら帽子 透き間 陽射し
空の高さ 青さ 風の匂い
川の細流(せせらぎ) 水面の景色
虫の誘い 草いきれ
自然の息吹 深呼吸
思い出は ラムネ色のカーテン
キオクの風に揺れている
すべては ボクの中にある
(作品 "I was born." 2002年より)

自然を介して、それぞれが、それぞれの「ボク」と出会う時間です。過去も、現在も、未来もすべて、それぞれの「ボク」たちの中にあるのです。

kitokito環境芸術祭2015 審査員
菊池 歩

Ecology Garden Kitokito ART EXHIBITION 2015



※「3はじめまして。くまのです。」と「6鈴木さんち」の2つの作品は、期間中、場所を移動します。マップに掲載している位置に作品がない場合は園内を探してみてください。

